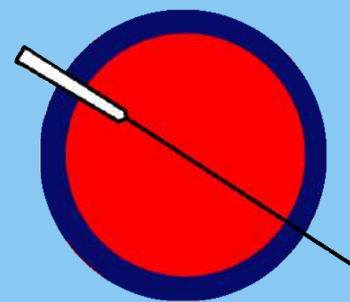


ACU PUNCTURE

岐阜県鍼灸師会会報



GIFU Acupuncture & Moxibustion ASSOCIATION 報告—連絡—情報誌

活動報告

- 11月25日 全国師会長会議報告
- 11月28日 第52回三県合同鍼灸研修会 テーマ「災害医療」
- 12月2日 普通救命講習会報告
- 2月3日 岐阜市 親子スキンタッチ教室 開催報告
- 2月10日～11日 西日本豪雨 愛媛県災害支援活動

【会員の活動】

下呂市・ヤマダ鍼灸院 山田和夫先生

お知らせ

訃報

第68回全日本鍼灸学会 学術大会 in愛知 (5月10日～12日)

医療廃棄物について

メール登録のお願い

年会費納付のお願い



一般社団法人 岐阜県鍼灸師会

岐阜県岐阜市中西郷5-5-11

事務局：TEL/FAX 058-234-2230

mail gifu89shikai@yahoo.co.jp

参加 藤吉 徳孝

事業内容

1. 日本鍼灸師会の今後の方向性について
2. 平成31年度行事予定（案）について
3. 全国大会について
4. ブロック割編成について

会議報告

・有事の際のために、各都道府県で危機管理委員会を立ち上げ、災害に適応出来る人材育成・体制をつくって欲しい。

・去年の北海道胆振東部地震では、無資格の団体が被災地に入り被災者よりお金を徴収していたことが発覚し、被災地支援を準備している段階で被災地での活動を停止された。

・医療に関する広告規制の見直しについては、ウェブサイト等についても規正が入る予定。

・学校教育の新カリキュラムに伴う学外臨床実習指導者について。臨床実習指導者の育成。現在は、東京・大阪の2会場だが、今後は増えていく予定。

・日本鍼灸師会会費値上げによる検討は、ピーク時は会員6,000名。現在、4,880名。今後更に減少が予想されており、日本鍼灸師会本体の運営が厳しくなってくる。中長期的にみて、会費を値上げ（但し、単純に上げるわけではない）をして、やるべき事をやっていくべき。そして、最終的には日本鍼灸師会のブランド力アップにつなげる。

◆来年度、ブロック編成より現在の8ブロックから7ブロックになります。現在の中部ブロックはなくなり、岐阜県は新たに東海北陸ブロックとなります。



第52回三県合同鍼灸研修会IN愛知

テーマ「災害医療」

平成30年11月18日（日）名古屋医健スポーツ専門学校にて

参加された先生方のレポートです

南谷 旺白

早朝はやや冷えたものの、とても暖かい日でした。名古屋駅から栄3丁目の名古屋医健スポーツ専門学校まで、爽やかなお散歩で到着しました。会場では、愛知県鍼灸師会の先生方が笑顔で迎えて下さりながら着々と講座の準備をしていらっしゃいます。

受付で次の5点の資料を頂きました。

- 1、災害支援マニュアル（一般社団法人愛知県鍼灸師会）
- 2、災害医療の基礎知識資料（講師 上田宣夫医師）
- 3、日鍼会における危機管理の現状と災害支援の実際についての資料（講師 堀口正剛鍼灸師）
- 4、避難所運営ゲームHUG資料（静岡県危機管理部）
- 5、ヒブス（鍼灸マッサージ災害派遣者ユニフォーム）

講座開始の少し前、静岡県から参加の鈴木芳基先生（今夏に大阪国際会議場で研修）に再会を喜び合いました。

第1部「災害医療概論」講師 上田宣夫先生

DMA T 医師 岐阜市民病院 災害医療部長

東日本大震災時、DMA T 医師として派遣され、現場で救急医療活動の様相など、パワーポイント紹介、および数々のご体験談が熱く語られました。その中で、

- ・指揮官の能力が結果に直結する。
- ・3日間靴を履いたままの活動、足が痛んでしまった。
- ・食事を摂る暇もない状態で…おにぎりの差し入れがあった時、とても嬉しかった…と述懐される

第2部「日鍼会における危機管理の状況とコーディネートの実際について、避難所運営ゲーム【HUG】説明」

講師 堀口正剛先生 日本鍼灸師会 危機管理委員会委員長

「災害医療」にかかわる第一義は人道支援である。業団としては、地域包括ケアシステムへ参入する為の足掛かりとなり、究極の普及啓発活動でもある。

1) 災害支援鍼灸師に登録するための要件

- ・都道府県鍼灸師会の会員であること。
- ・実務経験が五年以上であること。
- ・災害支援鍼灸師養成の研修等を受講していること。

2) 支援者の心得

- ・専門職の使命感が強すぎない。
- ・救援者ストレスに注意。
- ・すべては被災者のために。
- ・長くとも2泊3日体制で交代。

3) 鍼灸師に求められること

- ・平時から顔の見える関係作り支援活動の訓練
- ・医師が避難所で苦勞する肩こり、腰痛などへの対応

4) 施術の注意点

- ・治そうとしないで心地よいドーゼを心がける

第3部「避難所運営ゲームHUG」堀口正剛先生

参加者全員、4つのグループに分かれて、避難者の年齢性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームが行われた。

第4部「鍼灸師のリスクマネジメント」－ 大規模災害に備えて －（全日本鍼灸学会認定C講座）

講師 清水洋二先生（中和医療専門学校あはき関係学科）

この時、清水洋二先生の資料が配布されました。

1) 施術者本人に対するリスクマネジメント

- ・ボランティア保険に加入する。
- ・自身が2次災害に遭わないよう注意する。
- ・身分を証明する物。

2) 鍼灸による支援の適不適の判断

- ・内閣府告示228号第5条1項により、災害時の医療支援行為として認められている。

3) 毫鍼の清潔操作

- ・ラビング法。
- ・グローブの装着。
- ・鍼皿、消毒綿、廃鍼容器、廃棄綿花シャーレ等用意。
- ・刺絡、灸は禁止。

4) “想定外”は免罪符にならない。

参加者全員に「講座修了証」が手渡しされました。

◇ 懇親会 ◇ 会場；肝料理専門店 肝屋 嘉正亭 みその（栄1丁目） ◇

20名ほど参加。講師を囲んで、愛知・三重・岐阜のメンバー、和気藹藹（わきあいあい）、談笑、テコンドー技披露、歌声が出るなど、いずれのテーブルも大いに盛り上がり、予定時間は大幅なオーバーでした。

懇親会の解散；

お店の前で山田晃三先生と小生は藤吉会長を暫く待っていた所へ、エレガントな靴の愛知の先生が現われ、広小路通りを歩くことになり、途中、柳橋辺りで山田先生が消え去り・・・、アベックよろしく鮮やかなイルミネーションの微笑に祝福されながら名古屋駅に到着・・・帰宅。うれしい至福の一日に恵まれました。概略報告をお読み下さりありがとうございます。 2018-11-27（火）はれ 記述 Ohhaku Minatani

第52回三県合同鍼灸研修会in愛知参加報告書

藤吉徳孝

11月18日に名古屋医健スポーツ専門学校で（一社）愛知県鍼灸師会主催の三県合同鍼灸研修会が開催されました。今回は第52回と歴史のある研修会です。テーマは「災害医療」で、（公社）日本鍼灸師会災害支援鍼灸師養成講座となりました。岐阜県からは、高田幸枝副会長を始め、南谷旺伯先生、山田晃三先生、石田悦代先生、私の5名が参加しました。

一コマ目の講義では岐阜市民病院災害医療部長であり統括DMATである上田宣夫先生が、災害医療とは、から始まり、急性期の災害医療についてかみ砕いた形での講義となりました。急性期に現地に入った場合の現状、そして現場での用語についても説明。昨今の災害支援では、鍼灸師も急性期より入っており、DMATを中心としたミーティングに参加出来ている現状を考えますと、知っているべき内容でしたので非情に勉強になりました。

二コマ目の堀口正剛先生が日本鍼灸師会としての災害支援の実際についての説明をされ、今後は各県でもこうした取り組みをして欲しいとの話もありました。

そして続く三コマ目では、実際に災害医療とは関係がありませんが、避難所運営ゲーム（HUG）をグループに別れて行いました。恐らく、初めてだった先生が多かったのではないのでしょうか。実際の避難所として考え、避難してきた人をどう振り分けるか。次々に起こるイベントに対してどう対処するのか。正解はないので、いろいろと知恵を振り絞り考えていく。こうした取り組みは、少し頭をならしておくことで実際の有事の際は、少しでも役立つのと思います。

四コマ目は、鍼灸師のリスクマネジメントとして清水洋二先生が講義されました。鍼灸師が災害支援で入った場合は施術はやり過ぎない、心地の良い刺激量で等の注意点、そして心構え。あくまでも通りすがりであるということ。分かりやすい講義でした。

研修会後の懇親会では、愛知県、三重県の先生方との交流を深め、いろいろな意見交換をする事が出来ました。来年度の第53回三県合同鍼灸研修会は、主催が岐阜県となっております。テーマは「お灸」です。多くの会員の先生方にご参加いただけますよう、よろしくお願い致します。

11月18日に名古屋医健スポーツ専門学校で愛知県鍼灸師会主催の三県合同鍼灸研修会が開催され、テーマは「災害支援鍼灸師養成講座」であった。

午前の講義ではDMAT医師の上田先生が講師で、東日本大震災の被災地にて活動を行ったときの報告をしていただいた。

午後は日鍼会の堀口先生が災害支援の実際について講義を行った。次々に発生する大規模災害のあと、長期化する避難生活や仮設住宅での被災者の疲労は想像を絶することであり、我々鍼灸師は被災地にて何ができるのでしょうかと思うと今までボランティア活動にも消極的な自分がいた。

日鍼会では災害支援鍼灸師を養成するために、支援者の心得や施術の注意点を示す（鍼は浅く、置鍼、単刺のみとする。鍼は一人4～5本程度とする。治そうとしないで心地よいドーズを心がけるなど）マニュアルが作成してあった。それに沿って私のような支援初心者でも躊躇することなく活動を行うことが可能であると思う。



報告書

涉外 石田悦代

11月18日に行われた三県合同鍼灸研修会に参加いたしました。避難所運営ゲームHUGでは、避難所における総人数、男女比、年齢層、どんなニーズが多いかの情報収集や、活動の優先順位をはっきりさせることなど、受け入れながらも迅速に対応することが必要で、不慣れな状況に焦ってしまいました。避難所運営をスムーズにするためには、支援体制が整っているかどうかがかギになっており、対策本部の設置能力、公的機関との連携、窓口の一本化などのマネジメント能力が不可欠であることを学ぶことができました。こうしたゲームを通して災害に対する意識や知識を高めることは、減災につながるのではないかと考えております。来年は岐阜県鍼灸師会の担当ですが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

普通救命講習Ⅰレポート

平成30年12月2日 鍼灸マッサージ会館にて

普通救命講習Ⅰに参加してきました

高田幸枝

平成30年12月2日13時から16時まで岐阜県鍼灸マッサージ師会主催による普通救命講習Ⅰに参加してきました。講師は岐阜市中消防署の署員が3名いらっしゃいました。

講習の前に、火事が多発しているということで、初期消火の重要性を説明されました。火が天井まで到達していなければ、消火器で消火は可能です。火元にいきなり近づくのではなく、遠くから消火器を使い火種を小さくしてから徐々に火元に近づき鎮火させると熱く感じにくく炎の怖さも少ないそうです。また消火器の場所を普段から把握しておいて、使い方も確認しておくことが重要です。

心肺蘇生の手順とAEDの使い方については救命入門コースと同じ内容で一人ずつ実際に行いました。

ポイントは、

- ①胸骨圧迫は約5センチ深く圧迫しなければいけませんので肋骨が折れる場合があります。折れても肋骨は治るので救命することが大事です。
- ②絶え間なく圧迫をしなければいけないので大変疲れます。
一人でも多くの救助者を集めて交代しながら圧迫を行きましょう。
- ③AEDの電極パッドは大変粘着力が高いため、一度貼るとなかなか剥がれません。
1度に2枚剥がさずに1枚ずつ貼って装着させることが重要です。
土や埃がついてもいけないのでパッドを落とさないようにしましょう。
- ④電極パッドを装着するときに汗ばんでいると正確に測定できません。
汗をしっかりとふくようにタオルが付いています。
体毛で密着できない場合は付属のカミソリを使って剃毛してください。

その他小児やペースメーカー装着者の対応についても説明していただきました。

実際に胸骨圧迫を行うことで疑問点や注意点もでてきます。署員の方に修正していただきながら、身体にインプットさせることが重要だと思いました。

親子スキンタッチ教室開催レポート

平成31年2月3日（日）ハートフルスクエア2階G和室にて

主催したスタッフのレポートです

心と体を強くする

親子スキンタッチ教室

スキンタッチって？

昔からある「小児はり」を現代風にアレンジした健康法のことです。全身皮膚にあるツボをどこのご家庭にもある、スプーン・歯ブラシ・ドライヤーを使い分けながら、指でたり軽い刺激を与えたりして脳や内臓の働きを高め、自律神経の安定をはかります。家でお母さんお父さんが遊び感覚でもできることも魅力のひとつ。お子様を丈夫で元気な体に近づけませんか？ぜひ、ご家族でご参加ください！

親子スキンタッチ教室は東洋医学に基づいた子供のツボ健康法をプロから学び、実際にお子様に行う教室です

2月3日(日)10:00~11:30

場 所 ハートフルスクエア2階 和室研修室2
(〒500-8521 岐阜市橋本町1丁目10番地23)

持ち物 バスタオル 筆記用具

参加費 1家族5,000円

対 象 0歳～6歳のお子様と保護者

定 員 10組の親子

申 込 ①お名前②参加人数③お子様の年齢④連絡先を明記の上、メールにてお申し込みください
oyakoskin.gifu@gmail.com

主催：岐阜県鍼灸師会 岐阜スキンタッチ会
問合せ：058-264-7657(はりまきゅうHARU内)



親子スキンタッチ教室報告書

谷口茂夫

2月3日岐阜での親子スキンタッチ教室に参加させていただきました。

本番まで 岐阜のスタッフと一度も会うことが出来ませんでした。LINE を使い連絡を取り、段取りをしていただいたので 助かりました。

今回、司会を担当させて頂きましたが、私は人前で話すのはとても無理だと思っていましたが、台本やスライドが準備してあるので心強かったです。

参加した子どもたちも 友達同士だったせいかとても賑やかで、こちらでもエネルギーを頂きました。会場に入ったとたん泣き出してしまふようなデリケートなお子さんもいました。最初は、お母さんからスキンタッチを受

けている時も緊張をしていますが、すぐに緊張が緩み、お母さんに身を委ねている感じでした。明らかに顔の表情も柔らかくなっていく瞬間を見ることができました。スキンタッチは、親子のスキンシップを深め、子供の心身の健やかな成長の手助けになりますので沢山の家族に知っていただきたいと思いました。

今回の教室を通して色々な体験をさせていただきました とても勉強になりました。ありがとうございます。



谷口先生と参加したお子さまたち。
スキンタッチ人形は
女の子たちに大人気！

スキンタッチデモンストレーション！
スライドも使い、わかりやすく。



2月3日岐阜市親子スキンタッチ教室レポート

松浦朱里

今回で5回目を迎えた親子スキンタッチ教室。今回は7組19名の親子が参加してくださいました。昨年度、岐阜市は公民館での開催でしたが今回はハートフルスクエアGでの開催でした。駐車場が有料になることが懸念しておりましたが、お子様が希望されてバスでいらっしゃった親子もみえたので、公共交通機関が充実している場所は、そこまで心配しなくても良いのかなと思いました。

スタッフは藤吉徳孝会長、高山市から谷口茂夫先生、松浦で行いました。3人が顔を合わすのは当日でした。練習らしい練習をしておりましたが、全員スタッフ経験者だったのでスムーズに進めました。愛知県鍼灸師会の先生方もお手伝いに来てくださいました。特に私は9カ月の息子も一緒でしたので準備をしている間、先生方に面倒を見ていただいたり、授乳の際は代わりに参加者に指導して下さったりと、大変助かりました。（一社）愛知県鍼灸師会、長谷川栄一先生、高橋日出子先生、廣山洋子先生、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

会場はいつも賑やかですが、今回はお友達同士の参加も多かったため、いつも以上に賑やかでした。流れは、小児はり、スキンタッチ、東洋医学のお話をスライドを使って伝え、実践です。実践では鍼灸師が保護者に行い、保護者がお子様に行います。参加者にスキンタッチをお伝えする立場のスタッフは、やり方は同じでなければなりません。始まる前は準備などバタバタしてしまいましたが、必ずスタッフは集まりスタッフ同士確認をしていきたいと思えます。

毎回反省すべき点は出てきますので、今後もより良い親子スキンタッチ教室にするため、またスタッフで話し合い来年度へ向けて頑張りたいと思えます。

親子スキンタッチ教室レポート

藤吉徳孝

2月3日（日）、岐阜市のハートフルスクエアG和室研修室にて、第5回親子スキンタッチ教室が行われました。インフルエンザ大流行の中開催予定でしたので、数日前までの申し込みは1組と少なく、当日はどうなるのだろうと心配しておりましたが、当日までに7組のお申し込みがあり、当日はお休み無く7組19名の親子が参加してくれました。（次項へ続く）

(続き)

今回は、松浦朱里先生、藤吉、そして高山から谷口茂夫先生が駆けつけてくださり、3名での運営となりました。当日は、(一社)愛知県鍼灸師会の長谷川栄一先生、高橋日出子先生、廣山洋子先生もお手伝いくださり、スタッフと参加者で総勢25名。お子さんも多く、賑やかな教室となりました。

毎回同じになりますが、台本に沿って進行。お子さん達が少しでも楽しんでくれたらと音楽も心地よい感じの音量でかけながらの教室。メリハリを付けるために、途中スライドを入れての説明。そして、いざ実技。3組のグループに分かれ、担当鍼灸師がスキントッチの説明をしながら実際に保護者に受けてもらい、お子さんへの実技。参加者からは活発に質問が出ていて、皆さん非常に一生懸命楽しみながらやっていたかと思います。

今年度は、これで最後の教室となりましたが、また来年度開催していく予定となっています。

今年度の親子スキントッチ教室を振り返ります！

平成30年度の親子スキントッチ教室を終えて

松浦朱里

今年度の親子スキントッチ教室は7月1日に高山市と2月3日岐阜市で2回行いました。関市ではスタッフの都合上、開催が出来ませんでした。項目ごとに反省点を上げたいと思います。

◆開催時期について

暖かい時期に行くべきだと思いましたが、2月の岐阜市はインフルエンザが猛威を振るっている時期と被りキャンセルを懸念していました。心配ご無用でしたが、主催側こそ、そういう点は配慮すべきだと思いました。来年度は6月、7月、9月で考えています。

◆宣伝について

高山市では母乳マッサージの助産院や児童館など子どもが集まる場所にチラシを置いてもらったので、非常に集めやすかったです。高山市の後援も取れたからかもしれません。岐阜市は毎回苦勞するのですが、来年度は「平成31年度親子スキントッチ教室スケジュール」としてチラシを作ろうかと思っております。そして岐阜市の後援、広報ぎふへの掲載依頼、(一社)岐阜県民間保育園・認定こども園連盟、(一社)岐阜県私立幼稚園連合会などへ協力をお願いし、チラシの配布等行って行きたいと思っております。

◆スキントッチ実技について

開催する地域は基本その地域の先生方に担当をお願いしております。初めての開催地は大体私もスタッフで行くのですが、始まる前の打ち合わせはしっかり行うべきだと思います。鍼灸師はお子様には直接行いません。保護者がお子様に行くので、その辺りをきちんと伝え共有していきたいです。

◆当日までと当日の役割

毎回役割分担、持ち物分担を確認しているのので、表にして何ヶ月前からやることリストを作り誰が見てもすぐ取り組めるようにしていきたいと思います。最中もスタッフ同士コンタクトを取りながら進めていきたです。

◆その他

授乳する方が2会場とも1人～2人いらっしまったので申し込みを受けた時に授乳の有無を確認し会場に授乳スペースを作りたいと思います。

以上です。



岐阜スキンタッチ会は仲間を募集中です！

岐阜県内の各市町村で親子スキンタッチ教室をこれからも開催していきたいと思っています！
スキンタッチは子育て中のママ鍼灸師にもピッタリな活動です。ぜひこの機会と一緒に活動しませんか？ピンときましたら、お気軽にご連絡ください！

岐阜スキンタッチ会 連絡先 89haru@gmail.com 担当 松浦



西日本豪雨 愛媛県災害支援活動

平成31年2月10日・11日 愛媛県西予市

平成30年西日本豪雨 愛媛県災害支援活動報告書

藤吉徳孝

2月10・11日の2日間、愛媛県西予市にあります明間仮設住宅へ小椋賢二先生と藤吉の二名で災害支援活動を行ってきました。初日は14:00~17:00、二日目は10:00~14:00の時間で、健康体操や施術を行ってきました。

まずは、現場に入る前に、愛媛県鍼灸師会の災害対策本部になっている院へ伺い、ベッドや鍼やカルテをお借りしました。

初日は、小椋先生担当の健康体操に5名参加されました。みんなで運動しながら、時折笑い声も聞こえる和やかなムードで行われ、参加して下さった被災された皆さんの表情が明るく変化していました。施術に関しては、災害のマニュアルに沿って、消毒、グローブ着用、鍼の本数も少なく低刺激、短時間で行いました。施術には、8名の方が受けにられました。

二日目は、天候悪く、予定していました健康体操教室は開催出来ず。出だしは遅かったのですが、前日も施術を受けた方が数名含めて6名の施術。気がついた点については、社協の担当者にお伝えし、意見交換をしました。

今回行きました愛媛県。地震とは違い倒壊している家屋は少ないですが、川や山を見ますと豪雨によって崩れた箇所や、未だ残っている流木が見受けら、災害の傷跡が現在も残っております。

災害はいつ何時起こるか分かりません。岐阜県鍼灸師会も組織として動ける体制を構築していかなければなりません。

今回の活動に当たり、コーディネートして下さった(公社)愛媛県鍼灸師会の宇都宮信博先生、宇都宮道祐先生に感謝申し上げます。





岐阜県鍼灸師会理事・災害担当 小椋賢二

2019年2月10日、11日と、昨年7月の西日本豪雨災害で、現在も被災者支援が行われている愛媛県伊予市に行き、仮設住宅での生活を余儀なくされている被災者に対し、ボランティア活動として鍼灸治療をしてきました。

伊予市の仮設住宅は、2年前に廃校になった小学校の運動場を利用して建てられています。

仮設の各住宅は4.5畳と3畳およびキッチンがある長屋の住宅で、多くは高齢者夫婦が生活してみえました。

我々のボランティア活動は、仮設住宅の設置とともに設置された集会所で施術を行いました。

仮設住宅の入所は、昨年10月頃から始まり、今後2年間は仮設での生活が可能との事でした。

さて、集会所では、暖房がきく畳と板間でできたワンルーム＋キッチンとトイレでできていて、広さは16畳程度です。

我々は、愛媛県被災地に行く道中、愛媛県鍼灸師会より簡易ベッド、衛生材料、ケアに来た患者カルテ等を借りて現地入りをした。

仮設住宅では、現地の社会福祉協議会担当者が我々の到着を待って見えました。

社会福祉協議会担当者とは、被災地、被災者について情報を頂き、少し意見交換等を行いました。

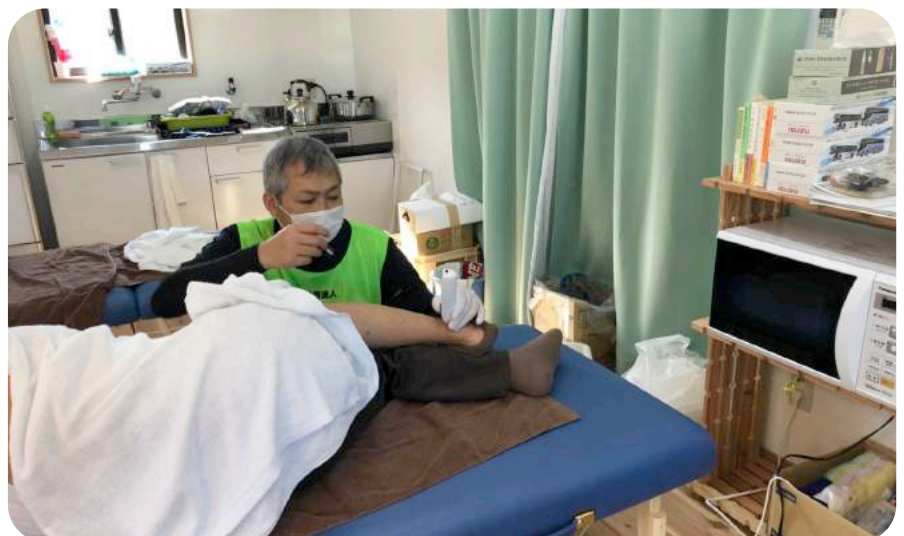
現地到着した初日の介護予防体操に参加した人の中には、認知機能が低下している高齢者とその家族も参加されました。

二日間の我々のケア活動で集会室に訪れた人は、40歳代～80歳代の男女で、多くは、仮設住宅での生活前からの症状が悪化したという者が多くありました。この二日間のケア活動において、ケアに訪れた方々の情報は、それぞれの日のケア終了後に地元の社会福祉協議会職員に伝え、連携を図りました。

この連携は、次の具体的なケアに繋げる必要な情報として、ケアに訪れた方の個人カルテを社会福祉協議会職員が情報として写真に撮っていくなどをされました。

社会福祉協議会職員からは「今までにも、鍼灸師さんやマッサージ師さんに被災者支援活動に来てもらっているが、いつも仮設住宅で生活している方々から「心身が楽になると聞いています。」等、喜ばれている事を教えて頂きました。

近年、毎年と言えるほど、日本各地で災害が絶えませんが、今後も災害支援活動を続けていけるように、組織としての活動も行えるようにしていきたいと思えます。



会員の活動

下呂市・ヤマダ鍼灸院 山田和夫先生

下呂市金山町の「ヤマダ鍼灸院」山田和夫です。日頃は岐阜県鍼灸師会諸先生の皆様には大変お世話になりありがとうございます。まだまだ諸先輩に比べれば新参者ですが、当治療院も開業から何とか13年ほど経過しました。

開業以前は親の代からの食品販売業を自営で行っていましたが、私自身腰痛などあり都市部の鍼灸院に通ったりしているうちに鍼灸のすばらしさを知り、たまたま県内に初めて鍼灸専門学校が開設されることを知り、一念

発起し入学しました。そして鍼灸師免許取得後、地元にて平成18年に開業した次第です。

開業後はありがたいことに地元の友人や知人の引き立てもあり順調に経営することが出来ました。また、地域高齢者の状況も見聞きし介護にも携わりたいと思いケアマネ資格取得後、平成24年に地元社協退職の女性ケアマネの協力を得て、「あんしんケアセンター 居宅介護支援事業所」を立ち上げました。

この様なことで現在治療院とケアマネの二足のわらじで奮闘している所存ですが、まだまだ戸惑うことが多く、皆様に色々なアドバイスを頂けたら幸いと思っていますので、今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。



お知らせ

訃報

平成30年12月6日、長年にわたり当会に所属されておりました上村英彦先生が大動脈解離のため逝去されました。上村先生は、龍谷大学をご卒業後、現在の中和医療専門学校をご卒業され鍼灸師となりました。常日頃より古典の書籍を読まれ、患者さんのために古典鍼灸に没頭してこられました。66歳と、まだまだこれからの時に残念です。

岐阜県鍼灸師会としても偉大な先生を失ってしまいました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



第68回

全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会

来年度5月10日＝12日、名古屋国際会議場にて行われます。既に申し込みが開始されていますので、会員の方は是非ご参加ください。

公認社団法人 全日本鍼灸学会
JEAJF The Japan Society of Acupuncturists and Herbalists

オンナのミカタは
ミンナのミカタ。
もっとミンナの鍼灸に。
女性の健康と真剣に
向き合うことからはじめます。

女性のミカタ
HARI-KYU FOR WOMEN'S LIVES

第68回
(公社)全日本鍼灸学会学術大会
愛知大会

会期：西尾 永司
(原田真徳衛生大学 基幹人科学講座 准教授)
実行委員長：清水 洋二

2019 5.10 - 5.12
fri sun

会場：名古屋国際会議場
会場：〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

大会議題テーマ(予定)
01 女性の一生と鍼灸
02 女性アスリートと鍼灸
03 女性特有の病氣と鍼灸

facebook

事務局：〒660 (公社)全日本鍼灸学会学術大会 愛知大会事務局 〒402-8233 愛知県稲沢市東陵町1-1-81 中和医療専門学校 mail: 58aichi@jeam.jp

【ようこそ岐阜県鍼灸師会へ～新入会員の挨拶～】

海津市在住の安藤久美子と申します。訪問マッサージを通じてこれからの高齢化社会になにか貢献できればと思い入会いたしました。わからない事ばかりですが、宜しくお願い致します。

安藤先生、
よろしく願いいたします！

【使い捨て鍼等は医療廃棄物処理委託】

医療廃棄物処理法の改正により、現在「会」で回収出来なくなっております。各個人、各施術所で、下記団体に加盟されている感染性廃棄物処理業者と個人契約をし、使用済みはりや衛生材料（綿花等）の適切な医療廃棄物処理をお願いします。

業者は、県内各地にありますので、下記のホームページで検索してください。

岐阜県産業環境保全協会 <http://www.gifu-hozen.jp/>

【鍼灸師の機能訓練指導員取得希望者の募集】

小椋賢二

日本鍼灸師会を中心に関連団体が纏まり、漸く、今年4月から鍼灸師も介護における機能訓練指導員として働ける道が開かれました。

既に多くの鍼灸師はご存知と思いますが、機能訓練指導員の資格取得には条件があります。機能訓練指導員の資格取得を希望する方は、就業先を紹介できる準備をしておりますので、岐阜県鍼灸師会会長にお申し出ください。



【(公社)日本鍼灸師会メールマガジンにご登録のお願い】

隔週の予定で、一般向けの東洋医学に関する情報や話題、会員向けに全国の研修会等の情報が配信されます。是非ご登録ください。

登録ページ <https://www.harikyu.or.jp/mailmagazine/index.html>

登録後、登録の有無がメールで返信されます。登録後に必ずご確認ください。

【E-mailアドレス登録のお願い】

E-mailアドレスをお持ちの先生は、アドレスの登録をお願いします。会報誌「ACUPUNCTURE」や鍼灸師会のお知らせなどをE-mailで素早くお知らせできるようになります。

登録方法は、(一社)岐阜県鍼灸師会ホームページより一番上にある「お問い合わせ」に入ってください、お名前、アドレスをそれぞれ入力して送信してください。

ご協力、よろしく申し上げます。

【年会費納付のお願い】

副会長・学術部長・会計 高田幸枝

▼年会費の振込用紙はゆうちょ銀行窓口で貰ってください。

ゆうちょ銀行口座番号(青色用紙)：00830-8-83446

口座名義：一般社団法人岐阜県鍼灸師会

納付期限	全期一括の場合	44,000円	6月30日まで
	分納の場合	前期分 24,000円	6月30日まで
		後期分 20,000円	11月30日まで

期日厳守で納付の方をお願いします。

会への質問、ご意見、ご要望等は(一社)岐阜県鍼灸師会ホームページ又は直接事務局へお問い合わせください。TEL/FAX 058-234-2230

